

注意事項

- ▼ 表示荷重以下の車両にご使用ください。
- ▼ リリースバルブは、必要以上に回さないでください。
- ▼ 長時間、荷重を支えた状態にする場合やジャッキアップした物の下に入って作業する場合は、必ず保持台（F-23ジャッキスタンド）で安全を確保してください。
- ▼ ご使用前に必ず、正常に作動するかどうかを点検、確認の上で使用ください。
- ▼ 必要以上に高くジャッキアップしないでください。
- ▼ ジャッキポイントは、各車両の取扱説明書にてご確認の上で使用ください。
- ▼ ハンドルを使わないときは、必ず本体から外しておいてください。作業中に足などをひっかけたりすると、ジャッキのセットがずれるなど危険です。
- ▼ 軟らかい地面、急な坂、斜め地形、安定の悪い地面での使用は危険ですのでしないでください。
- ▼ 業務用には使用しないでください。

こんな時は……故障と思われる前に（Q & A）

主な症状	原因	処置
ジャッキが上昇しない	リリースバルブが開いている	リリースバルブを右に回して確実に閉じてください
最伸長まで上昇しない	オイルの不足	給油してください
ジャッキが沈下する	リリースバルブの締込み不足	リリースバルブを右に回して確実に閉じてください
	その他	販売元までご相談ください
ジャッキが自然に上昇する	ジャッキ内部に空気が入っている	ジャッキのエアー抜きを行ってください
	オイルの入れすぎ	給油口の下端までオイルを抜いてください
オイルが漏れる	シールパッキンの不良	販売元までご相談ください

///eltec

輸入元 **大自工業株式会社**

営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126
TEL.072-976-0101(代) / FAX.072-976-0105
東京支店 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-37-12-102
TEL.03-3590-6105 / FAX.03-3590-0478
●http://www.daiji.co.jp/ ●Eメール:info@daiji.co.jp

この製品は日本で企画・設計し、中国で製造しました。

本製品の仕様ならびに装備・カラーは改良の為、予告なく変更する場合があります。

///eltec
Mechanical
electrotechnics

取扱説明書



F-33/F-34/F-35

ボトルジャッキ

HYDRALIC BOTTLE JACK

この度、ボトルジャッキ（F-33/F-34/F-35）をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読み頂き正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

いざという時のために、本書は必ずお車の中に保管してください。

★必ず事前にボトルジャッキで利用できるジャッキポイント、ジャッキポイントより地面までの距離を確認して下さい。使用できない場合があります。

安全に関するご注意

本器を正しく安全にご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解されるまで作業を行わないでください。

取扱説明書以外の使用や改造及び分解による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ジャッキアップした車両の下で、保持台(F-23ジャッキスタンド)を使用しないで作業するのは危険ですので、絶対しないでください。

特徴

コンパクトでじゃまにならず、作業中でも足を引っ掛ける危険が少ない。

使用用途

●タイヤ交換、簡単な整備やバイク整備等。

●ボトルジャッキ(F-33/F-34/F-35)は、車をジャッキアップするものです。

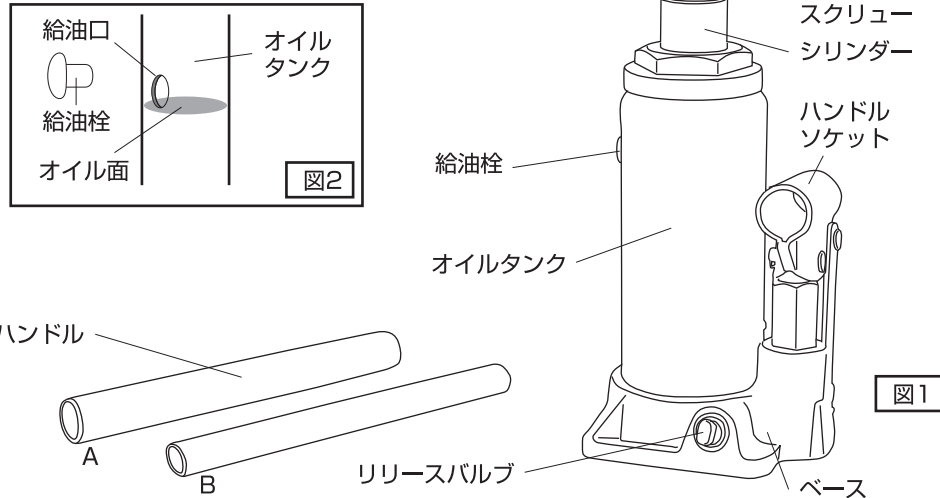
※車以外のものには使用できません。

※建築関係には絶対に使用しないでください。(長時間保持する事はできません。)

注意 ジャッキアップは必ず1輪づつ行い、必ずジャッキスタンド(ウマ)を使用し、車体を安定させてください。必要以上にリストアップしないでください。(不安定となり大変危険です。)

標準ジャッキポイントでは利用できない場合があります。必ず事前に車種に応じたマニュアルや自動車メーカー等へ問い合わせ確認の上、使用して下さい。

各部の名称



用意するもの

●軍手等の手袋、ジャッキスタンド(ウマ)、3cm厚の板、タイヤストッパー、ウエス等

仕様

型式	F-33	F-34	F-35
耐荷重量(最大荷重)	2t	4t	6t
適用車重	2,000 以下	4,000 以下	6,000 以下
最縮長	178mm	205mm	205mm
ストローク	175mm	208mm	215mm
最伸長	353mm	413mm	420mm
ハンドル長	285mm(二段)	330mm(二段)	330mm(二段)
本体重量(ハンドル含む)	約2,600	約3,780	約4,900
適応温度		-25~70℃	

使用方法

●上げるとき

1. ジャッキは硬い路面の平らな場所で、サドルの天面部にまっすぐ荷重がかかるようにセットしてください。
(凍結路面の場合は、ジャッキの下に布地を敷くと滑り防止になります。)
2. リリースバルブにハンドル先端を差し込み、右に回して確実に閉じてください。
(図-1 参照)
3. ハンドルソケットに備え付けのハンドルを(AとB接続して)差し込み、ポンプ操作をしてください。
4. ジャッキは必要以上に上げないでください。

●下げるとき

1. リリースバルブにハンドル先端を差し込み、左にゆっくり1/4回転まで緩めてください。
車の荷重でジャッキが降下します。
(1/4回転以上緩めると急降下して危険です。)
2. 車両が完全に降下するとジャッキはそれ以上縮みません。リリースバルブをさらに3/4回転ほど緩め、サドルを足で踏んで緩めてください。(手で下げると危険です。)

●ジャッキオイルの補充方法

1. ジャッキを平らな場所でまっすぐに置き、ジャッキのサドル等の上昇部分をすべて下げてください。
2. リリースバルブは、開いたままの状態にして置いてください。
3. 給油栓を指ではずし、オイル(F-62またはISO VG 22~46)を給油口の下端まで入れてください。(図-2 参照)
4. 給油が終わったあと、給油栓を取り付けてください。

●エア抜き(※作動能力を維持するために、定期的にはエア抜きを行ってください。)

1. リリースバルブを開け、給油栓を外してください。
2. すばやくポンプ操作をしてください。(5~6回)
3. リリースバルブを閉じ、給油栓を取り付けてください。

※給油及びエア抜きは必要に応じて、必ず行ってください。